

新型コロナウイルスに
便乗した悪質商法に注意!

安全・安心な市民生活を応援
八街市消費生活センター

迷ったときは、一人で悩まず、お気軽にご相談を



★相談事例1

市の新型コロナウイルス対策室を名乗り、個人情報聞き出す電話を受けた。「市の新型コロナウイルス対策室です。このたびは新型コロナウイルス感染症のことで大変ご心配をおかけしています。市では皆さんに助成金をお配りしています。お子さん1人当たり3万円です。つきましてはキャッシュカードの番号または銀行口座番号に振り込みますので口座番号を教えてください」とい

★相談事例2

自宅の固定電話に、男性から「新型コロナウイルスの検査が無料で受けられる。その際にマイナンバーが必要」といわれ、持っている必要と「検査は自宅です」といわれ、自宅に行くと言われた。違和感を覚えたので「市役所に確認する」と言う一方で、電話が切られた。詐欺ではな

★相談事例3

携帯電話会社名で「会員の皆様へ」というメールが届いた。「新型コロナウイルスの影響で不安な日々をお過ごし

は会員様に少しでも快適な生活を送っていただくため、事態収束まで、毎月『助成金配布』を決定しました。毎月総額1億円を会員の皆様へ配布させていただきます」というURLが添付されたメールだった。URLを開くと当選金として400万円が貰える。振り込口座番号を送信するように促された。不審だ。

★相談事例4

自宅に息子を名乗る電話があり「会社でミスをして上司からお金を借りたので助けてほしい」と頼まれた。その後、上司を名乗る男性から電話があり「息子さんから聞いています」と思いますが、お金を100万円貸している。新型コロナウイルスの影響で、こちらもお金の困りどころで、すぐにお金も返してほしいと言われ、指示通りに100万円の現金を用意して自宅へ引き渡すつもりだったが、再度上司から電話があり「自分は所用で行けなくなった。代わりの者が何うので、自宅ではなく別の場所へ引き渡してほしい」と言われた。返済するなら上

日夕方に領収書を届ける」と言われたが来なかった。後から詐欺だと気づいたが、どうしたらよいか。

＜相談員のアドバイス＞

新型コロナウイルス感染症に便乗し、市役所や大手企業などになりすまして、個人情報や口座情報、マイナンバーなどを聞きとろうとする相談などが寄せられています。電話やメールなどで、助成金があるの個人情報や口座情報を教えるように言われたら、詐欺の疑いがあります。こうした電話はすぐに切り、メールは無視しましょう。

振り込め詐欺は、事前に住所などが記載された電話帳や学校の卒業名簿など、多くの個人情報を入手して、家族の職場関係者や警察などの官公庁、金融機関などを名乗る電話があった場合、すぐに番号を調べましょう。そして必ず、現金を手渡したり、振り込んだりする前に、家族の本来の番号に電話して確認をするようにしましょう。

※「相談員のアドバイス」は、相談事例のほかにも、類似した相談のアドバイスも掲載しています。

困商工観光課 443・1405

新型コロナウイルス Q & A

Q 「新型コロナウイルス」とは、どのようなウイルスですか。

A 「新型コロナウイルス」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」、2012年以降発生している「中東呼吸器症候群 (MERS)」ウイルスが含まれます。

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができません。着するだけとされています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつとされています。

Q 感染を予防するために注意することはありますか。心配な場合には、どのように対応すればよいですか。

A これまでに国内で感染が確認された方のうち重症・軽症に関わらず約80%の方は、他の人に感染させていない一方で、一定の条件を満たす場所において、一人の感染者が複数人に感染させた事例が報告されています。集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、特に、密閉空間 (換気の悪い密閉空間である)、密集場所 (多くの人が密集している)、密接場面 (互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる) という3つの条件のある場で、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。

新型コロナウイルス感染症は、一般的な状況における感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染ですが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話するなどの一定の環境下であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。また、無症状の者からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

人と人との距離をとること (社会的距離)、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケット

を心がける、さらに家やオフィスの換気を十分にすること、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりすること、自己のみならず、他人への感染を回避すること、他人に感染させないように徹底することが必要です。

Q 感染が疑われる場合の相談・受診の目安はどうしたらよいですか?

A 相談・受診前に心がけていただきたいこと

- 発熱などのかぜの症状が見られるときは、学校や会社を休み、外出を控える。
 - 発熱などのかぜの症状が見られたら、毎日、体温の測定をして記録を残しておく。
- 保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」に相談する目安
- かぜの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く方、強いだるさや息苦しさがある方は、帰国者・接触者相談センターに相談してください。
 - 高齢者や糖尿病・心疾患・呼吸器疾患の基礎疾患がある方、透析を受けている方は、重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、相談してください。
 - 妊娠されている方は、念のため重症化しやすい方と同様に、早めに相談してください。
- 現時点では、新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザなどの心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医などに相談してください。

電話相談窓口 (コールセンター)

【千葉県】

☎ 0570-200-613 (24時間対応)
※土曜・日曜日、祝日を含む。

【帰国者・接触者相談センター】

【印旛健康福祉センター (保健所)】

☎ 483-1466 (平日の午前9時～午後5時)